

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org> では、カラーでご覧になれます。
 ……こんな活動をしています、ご参加ください…… どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

鷹啄^{たかほし}栄峰展<平面> 9月 5、6、7、12、13、14日

認識の試行を始めた時から、ある種の存在を感じる。ある種の存在とは、過去の残余が語る静かな生命感であろう。そして、存在を探そうとする試行の中に、残余の時間と生命感を私は感じる。

白く塗られたキャンバスや水彩用紙のマスキングテープで区切られた中に、アクリル絵の具を置き、乾かないうちにティッシュで拭き取り、自然なパターンを作りだしています。そこに加えられたシャープなドロ잉は、立体的に飛び出して見えたり、動きを感じさせられたりします。「こもれび」を浴びた作品の中に、鷹啄^{たかほし}さんの言う、存在=静かな生命感を見たようです。



— これからのスケジュール —

◆ 2003年 アルテクラブ企画展

中村斎子展<立体> 10月 3、4、5、10、11、12日
 金土日のみ開廊です！
 開廊時間 12:00～19:00 ・川越 三番町ギャラリー

★オープニングパーティー 10月2日(木)18:00～
 ロックバンド<オリゾン>のアカースティックな演奏です。<http://orison.go.to/>

— 作家より —

昨年、『コンテンポラリーアートヨコハマ』に出展した大きな作品に<ノゾむということ>、小品に<きぼう>と名づけました。ノゾむというのには、望むと臨む二つの意味をもたせ、アーティストとして自分を再確認したい、又さらに自由な広い視野を持ちたいという願いを込めたものです。今回展示する作品のうち、大作は去年CAF展で試みた作品の流れで空間に対する思い入れ(例えば立体作品というのは部屋の中央に展示されるものですが、それが四角形の部屋の隅を占めたらどういふふうか?)で個展に際して作り直しました。小品は昨年から壁掛けの大作に表れた(うねり)を取り入れて一つ一つの世界を表現できるように希望しつつ制作したものです。これからも動く作品、音の聞こえる作品等いろいろチャレンジしてみたいです。楽しんで見ていただけたらこれ以上の幸せはありません。

★作家プロフィール

茨城県生まれ
 多摩美術大学デザイン科卒
 89～00 女流画家協会展
 97 奨励賞受賞 00 資生堂賞受賞
 98、99、02 CAF展
 91～00 個展4回 2人展2回
 00 花普展 01 CAT展
 女流画家協会会員

— これからのアルテクラブ展 —

井草裕明展<平面>50回記念 11月21日～
 高山典子展<陶オブジェ> 12月5日～

— お知らせ —

2000年4月パルーチャ美知子展で演奏された『植物模様』の作曲者・藤枝守さんよりワークショップと公演のご案内です。詳細は最後のページにあります。
 鎌倉芸術館 詩と音楽のコンサートⅨ
 <今日は死ぬのにもってこいの日>
 10月11日(土)18:00開演 鎌倉芸術館 小ホール

あるって くるぶ コンサート

活動のご報告

♪ <鷹啄栄峰展> オープニングコンサート

9月4日6時～

Une robe d'ete (尾島由郎+柴野さつきの新ユニット)

Une robe d'ete・・・? サマードレス・・・?

できたてのアンビエントユニット"Une robe d'ete"のライブです。

- ・鷹啄さんの作品とピッチシで、作品が音に乗って動き出すように感じた。(小)
- ・舞踏をイメージしました。(矢)
- ・温帯モンスーンをイメージした。(草)
(8月始めの台風の日に出た曲だそーです)
- ・感動した！(多数)

プロフィール:

尾島由郎

作曲家/音楽プロデューサー。自身のCDを発表するのみならず、柴野作品を数多くプロデュースしている。一方でWebプロデュースにも通じており、インターネット・ビジネスとアーティストティックな音楽シーンを日夜疾走中。

柴野さつき

エリック・サティの研究家/詩人のピアニスト、J. J. パルビエに師事。サティの作品を演奏したCDを中心に発表するほか、スクリヤービンのプレリユード曲集『形のない息吹き』発表など、枠にとらわれない自由な演奏活動を展開している。



アルテクラブ・クッキング

“本日のめにゅー”

《 鷹啄栄峰展 》

2003/09/04

- 枝豆のコロッケ
- 揚げ魚のレモン風味
- かぼちゃとさつまいものサラダ
- 鶏ササミのから揚げ黒酢風味
- 揚げなすのマリネとピクルス
- キノコのバルサミコ風味
- リンゴのヨーグルトサラダ

○梨のコンポート

○キャラウェイブレッド

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

○ステーキライス (MAKI Supecial)

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPです。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。

URL http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/



♪ <中村斎子展> オープニングコンサート

10月2日(木)6時ごろから

<ORISON:オリゾン>

主に60年代～70年代のロック・ソウル・ファンクなどに強い影響を受けた3人によるポップかつグルーヴィーなロックバンド。「グッドソングに躍動感のある演奏」をモットーに現在都内ライブハウスを中心に月3～4本のライブ活動を行っている。

TORU 渡辺 透[Vocal&Bass]

海外で生まれ育つ。帰国後いくつかのバンドを経てオリゾン进行。氣志團のインディーズ1stアルバム「房総与太郎路薫狼琉」「魔女の宅急便」の原作者・角野栄子さん作のDVD(挿入歌)などに参加。

GOSSAMA 梧藤 柊二[Guitar]

オリゾンー筋!!!

にいさん 今村 功司[Drums]

18歳で上京、19歳よりプロとしての活動を始める。現在クレイジー・ケン・バンドのギタリスト小野瀬生さんのソロ・プロジェクト「小野瀬生ショウ」のドラマーとしても活躍。小野瀬雅生ショウは7/23にアルバム「Little High Big Now」(Victor/サブスタンス)を発売。

<http://orison.go.to/>

応援してま〜す!

「越生町・緑とせせらぎを守る会」

皆様もご存知のように、さくらの郷計画は、中止になったようですが、引き続き「守る会」では、大高取山の自然と人々の生活の共生を目差して、予定地の将来についての提案をすることが必要だと考えています。そこで“大高取山自然博物館構想(案)を提案します”

大高取山の自然は越生町の貴重な財産であり、里山としても、人々に親しまれてきた山です。

・展示施設ではなく、山の自然環境を、野外での自然観察や体験学習の場として活かそう。

・基本は多様な森づくりと市民参加

基本となる森づくりとは、

・原生林としての照葉樹林の復元

・落葉樹林の活用

・スギ、ヒノキ植林のモデル林

皆様のご意見をお聞かせ下さい。

お問い合わせは下記まで

代表 中村克彦

事務局 〒350-0415 入間郡越生町上野92

電話 0492-92-2717 俵木栄一

“しの笛コンサート”

今年もやりま〜す!

期日: 10月26日(日)

場所: 越生町 虚空蔵尊境内

午後1時~30分ぐらい: 自然観察会

午後2時~: コンサート

今回は篠笛のしっとりとしたところを存分に聞いていただくことにして二重奏をまじえてプログラミングしました。でも多国籍ムードです。

今年も何か仕掛けを考えてはいます。

皆さんに自然と一体になって頂くとか・・・???



境内にて

三番町ギャラリー
川越市南通町14-3
-103
Tel 049-226-7735

アルテクラブ事務局
草野建築設計事務所内
川越市南通町14-3-102
Tel 049-227-8176
Fax 049-227-8178
e-mail kusano@arteclub.org
URL <http://www.arteclub.org>

—これからのスケジュール—

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。

みなさんのご提案をお待ちしています。

参加してのご感想も、どしどしお寄せ下さい。

また「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費 3,000 円の会員が一人でも多く参加していただけるとうれしいです。

*ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています!
アートサポーターとして、参加してみませんか?

10月 3日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時

4日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時

5日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時

10日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時

11日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時

12日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時

*前回は、新井さん、小倉さん、植松さんが担当されました。

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引 20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大 30%off (例:ポイント獲得数10の方は10%off となります。)

お時間のとれる方は、草野まで連絡して下さい。

— お知らせ —

国際野外の表現展・コンセプト作品展
会場監視ボランティア募集のお知らせ

世界各国から集まったアーティストたちによって、野外空間に展開されたアートの様々な表現を通じ、現在私たちが直面している諸問題を顕在化させるとともに、自主的に参加した市民とアーティストの国際的な交流を目的に計画された「国際野外の表現展」は、昨年、プレ展として位置づけられて、東京電機大学鳩山キャンパスにて開催されました。

今年、2003年10月10日~11月3日まで、東京電機大学鳩山キャンパス、大東文化大学東松山キャンパス、国立女性教育会館、東松山ウォーキングセンターなどで、開催されます。それに先立ち、9月2日よりコンセプト小品展を3ヶ所で開催します。

国際野外の表現展 2003 比企

- ・主催 国際野外の表現展実行委員会
 - ・共催 We Meet Again 再会プロジェクト実行委員会
 - ・協力 東京電機大学理工学部、大東文化大学環境創造学部、国立女性教育会館
 - ・会期 10月10日(金)~11月3日(月)
 - ・会場 東京電機大学鳩山キャンパス、大東文化大学東松山キャンパス、国立女性教育会館
 - ・コンセプト作品展
 - ①10月10日(金)~11月3日(月) 東松山ウォーキングセンター
 - ②10月1日(水)~10月11日(土) 垂露麻ギャラリー(東松山市)
 - ・サビーネ・スタンゲ、ヒルデガルド・イエーケル 二人展(ドイツ)
10月12日(日)~10月18日(土) 垂露麻ギャラリー(東松山市)
- お問い合わせは、実行委員会事務局 小野寺まで
Tel 0493-35-4506

2000年4月バルーチャ美知子展オープニングコンサートにお出でいただいた、作曲者の藤枝守さんよりご案内です。その時の演奏は柴野さつきさんでした。10月12日(日)18:30~K' Green Galleryにてモノコードによる演奏ワークショップを開催します。



モノコードを作ろう

～響きを実感するために

ピタゴラスが音楽理論に使用したといわれるモノコードは、古代から「音の秩序」と「音の感性」をわかれに与える重要な楽器でした。このワークショップでは、このモノコードを実験で作ってみます。そして、この楽器作りを通して、発音、共振などの音響現象を肌で感じながら、響きそのものをダイレクトに体験することが、このワークショップの大きなねらいです。さらに、出来上がったモノコードを「耳」によって、うなりのない音程に基づきながら調整してみます。すると、そこから、さまざまな色合いをもった響きが生まれ、そのなかに美しいメロディをみいだすことができます。このような緊張のプロセスのなかで、「聴く」という行為がいかにセンシティブでデリケートなものであるかを、われわれは実感するはずです。

このワークショップでは、モノコードの制作に2~3時間、そのあと、無伴奏演奏に1~2時間を予定しています。楽器制作の経験がない人でも、かんたんにモノコードを作ることができます。(藤枝守)



日時：9月28日 13:30-18:00

場所：谷中会館初音ホール

受講料：2,500円

材料実費：3,500円(計：6,000円)

定員：先着30名

インストラクター：藤枝守(作曲家)

協力：九州芸術工科大学藤枝研究室、クマイ商店



POST CARD



art-Link上野・谷中 2003 参加企画

ワークショップ

「モノコードを作ろう～響きを実感するために」

日時：9月28日 13:30-18:00 場所：谷中会館初音ホール
 受講料：2,500円 材料実費：3,500円(計：6,000円) 定員：先着30名

インストラクター：藤枝守(作曲家)

協力：九州芸術工科大学藤枝研究室、クマイ商店

ワークショップの申し込み方法：クマイ商店(担当：岡田)までE-mailかFaxで氏名/住所/電話番号を明記して9/23(火)までにお申込み下さい。

E-mail: yanaka98@cc.mbn.or.jp Fax: 03-3823-0918

受講料・材料実費は当日支払い

ワークショップ当日の連絡先：03-3823-0901

なお、10月12日(日)午後6時半より、クマイ商店の「K's Green Gallery」にて、制作したモノコードによる演奏ワークショップを開催します。(ワークショップ受講者は無料。一般参加の方は、500円の資料料が必要です。)

【谷中会館初音ホールの行き方】

○J 日暮里駅北口を左折、ポストを左折し、そのまま交差点まで直進。交差点を右折、右側。
 ○地下鉄千代田線千駄木駅「四子坂下口」を出て交差点を渡る。直進し、三崎坂を上り左側。



鎌倉芸術館 詩と音楽のコンサート区

「今日は死ぬのにもってこいの日」

10月11日(土)18:00開演 小ホール

【内容】

今日は死ぬのにもってこいの日だ。

生きているものすべてが、わたしと呼吸を合わせている。

すべての声が、わたしの中で合唱している。

すべての美が、わたしの目の中で休もうとしてやって来た。

あらゆる悪い考えは、わたしから立ち去っていった。

(ナンシー・ウッド/金関寿夫訳)

植物と人知のエコロジカルな関係を探る作曲家・藤枝守の「植物文様ソングブック」をシアター・ヴァージョンで世界初演。自然と人間の関わりを広い視野から見つめる高樹沙耶が、ネイティヴ・アメリカン(アメリカ・インディアン)の口承詩や その生きかたにふれた詩を金関寿夫の美しい日本語訳で朗読。声楽と邦楽器と西洋古楽器のアンサンブルとともに、洋の東西・遙かな時空を超えて響き合うコラボレーション。

作曲/企画構成：藤枝守

出演：

高樹沙耶(朗読)

野々下由香里(メゾ・ソプラノ)

西陽子(箏)、丸田美紀(箏)、中川佳代子(箏)、

石川高(笙)、

鈴木理恵子(ヴァイオリン)、

岩淵恵美子(ポジティブ・オルガン)

演奏曲目：

藤枝守/植物文様ソングブック『今日は死ぬのにもってこいの日』シアター・ヴァージョン(2003)初演

テキスト：

ナンシー・ウッド著/金関寿夫訳『今日は死ぬのにもってこいの日』(めるくまーる刊・本体価格1700円)とネイティヴ・アメリカンの口承詩を中心に

【料金・発売情報】

全席指定4,000円

発売中

主催/企画制作：財団法人鎌倉市芸術文化振興財団(鎌倉芸術館)

協力：株式会社めるくまーる、近藤アーツネット

助成：財団法人野村国際文化財団

問合せ：鎌倉芸術館チケットセンター

0467-48-4500